

はじめに

AWS 認定 SysOps アドミニストレーター – アソシエイトレベル試験は、受験者の以下の能力を認定するものです。

- ビジネスで必要とされる安定性とスケーラビリティを AWS 上で実現する
- AWS でシステムの構築と、サービスとデプロイメントの自動化を行う
- AWS テクノロジーでのデータ整合性とデータセキュリティを確保する
- AWS のベストプラクティスについてガイダンスを提供する
- AWS の監視メトリックスを理解する

この水準を満たすために必要な基本知識とスキルには、以下の分野およびその下位項目すべてが含まれます。

AWS の知識

- AWS プラットフォームでの 1 年以上の実践経験
- AWS 上の実稼動システムの管理/運用に関する専門的な経験
- 7 つの AWS の基本的概念 – クラウドアーキテクチャに関する正確な理解
- AWS CLI および SDK/API ツールの実践経験
- AWS に関連するネットワーク技術の理解
- 基本的なセキュリティ概念の理解、およびセキュリティ統制とコンプライアンス要件の導入に関する実践経験

IT 全般の知識

- システム運用におけるシステムアドミニストレーターとしての 1 ~ 2 年の経験
- 仮想化テクノロジーに関する経験と理解
- システムのモニタリングと監査経験
- ネットワークの基本的な知識(DNS、TCP/IP、ファイアウォール)
- デベロッパーやビジネスチーム/企業全体と協力できる能力

以下トレーニングコースをはじめ、様々な方法が試験準備に役立ちます。

- AWS 実践入門1 (aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/practice/)
- Systems Operations on AWS (aws.amazon.com/training/sysops)
- AWS クラウドコンピューティングホワイトペーパー(aws.amazon.com/whitepapers)
 - セキュリティプロセス概要
 - クラウドのストレージオプション
 - 障害復旧を目的とした Amazon Web Services の使用
 - アマゾン ウェブ サービスの概要
 - Amazon Web Services: リスクとコンプライアンス
 - クラウドコンピューティングのアーキテクチャ: ベストプラクティス
- AWS ドキュメント(aws.amazon.com/documentation)

注: この試験要綱には配点、試験の目的、内容サンプルが含まれます。サンプルの問題や記述は、テストの目的を明確にするために収録したもので、必ずしもこのテストの出題内容を網羅してはいません。

下の表にこの試験の評価対象となる分野と全体に占める割合を示します。

分野	試験に占める割合
1.0 モニタリングとメトリックス	15%
2.0 高可用性	15%
3.0 分析	15%
4.0 デプロイメントとプロビジョニング	15%
5.0 データ管理	12%
6.0 セキュリティ	15%
7.0 ネットワーキング	13%

合計	100%
----	------

回答方法

受験者は 4 つ以上の選択肢から、設問に最もよく当てはまるもの、または回答となるものを選択します(複数選択可)。全体的にはどれも試験の目的が定める出題範囲に合致した、もっともらしい選択肢に見えますが、中には紛らわしい選択肢や誤った選択肢が含まれており、知識や技術が不完全な受験者の誤答を誘うようになっています。

この試験で用いる出題形式は以下のとおりです。

- **択一問題**: 選択肢の中から設問の答えとして正しいもの、または記述を完成させるものを 1 つ選んで回答する。選択肢が画像の中に埋め込まれている場合は、受験者が選んだ部分に「カーソルを合わせてクリック」することで設問への回答とする。
- **複数選択問題**: 選択肢の中から、設問の答えとして正しいもの、または記述を完成させるものを複数選択して回答する。
- **状況把握問題**: 説明文または設問を読み、選択肢の中から与えられた情報を正しく表しているもの、または適切な解決であるものを選んで回答する(複数選択可)。

出題範囲

- 分野 1.0: モニタリングとメトリックス**
 - 可用性とパフォーマンスのモニタリング
 - 請求およびコストの最適化プロセスのモニタリングと管理
- 分野 2.0: 高可用性**
 - シナリオに基づいて拡張性と伸縮自在性の導入
 - ビジネスニーズに基づいて耐障害性のレベルの理解
- 分野 3.0: 分析**
 - 環境を最適化して、パフォーマンスを最大化
 - パフォーマンスのボトルネックを特定し、解決策を導入
 - 特定のアプリケーションのデプロイメントにおける潜在的な問題を特定
- 分野 4.0: デプロイメントとプロビジョニング**
 - 設計済みデザインに適合する環境を構築できる
 - クラウドリソースをプロビジョニングし、導入の自動化を管理できる
- 分野 5.0: データ管理**
 - 各種サービスのバックアップを作成
 - コンプライアンスの要件を実施
 - バックアップと災害復旧プロセスを管理
- 分野 6.0: セキュリティ**
 - セキュリティポリシーを導入、管理できる
 - AWS プラットフォームの使用時のデータ整合性とアクセス制御
 - 責任分担モデルを理解
 - AWS の使用に関連したセキュリティアセスメントを理解
- 分野:7.0: ネットワーキング**
 - AWS のネットワーク機能の導入
 - AWS の接続機能の導入